

町方伊報

発行所
町方伊
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03 伊方局38-0211

編集
伊方局

印刷所
豊豫社
八幡浜市松柏 22-0144

今月の紙面

- 二面……三号機が本格着工
農業者年金制度改正
- 三面……民話と伝説「伊方越」
健康の窓
- 四面……相次ぐ交通死亡事故
- 五面……町の話題
- 六面……秋の火災予防運動

発見と再発見 ⑰

釣りに欠かせないゴカイ

釣りに欠かせないのが餌、最近ではジャマイカアミがよく使われますが、何んといつてもゴカイ(えむし)がいちばん。町内でも三カ所で養殖が行われています。

ゴカイの養殖が町内で始まったのは昭和五十年前後。一時は、釣りブームも加わってゴカイの需要が増え、供給が間に合わないほどでした。外国産の輸入が急増したのもこのころです。

その後釣りブームも峠を越え、えたうえ、このところの急激な田高などで安い外国産(韓

国・中国)が大量に出回り、養殖業界もますます厳しいようです。

現在、町内の養殖施設は川永田一カ所、大成二カ所となっています。

川永田にある「伊方えむし養殖場」では、昭和五十四年から約一千五百平方メートルの建物でゴカイの養殖が行われています。

鉄骨スレートぶきの建物の内部は、二十平方メートルにコンクリート枠で区切られ、四



水でふかせながらゴカイを浮きあがらせ、1つ1つ取る。手作業が多く手間がかかる。

養殖盛ん

分類学上というゴカイは、環形動物門・多毛綱・ゴカイ科に属する特定の種で、俗称ミスゴカイとも呼ばれる。やや塩分濃度が低く有機質に富む河口域などの砂泥中に住む。体長は十センチ前後、淡紅あるいは黄紅色で、疣足と剛毛のある七十〜百三十個の同型の環節をもつ。十二月から二月にかけて成熟し、雄は黄緑色、雌は青緑色となり、その多くは旧正月ごろの夜間大潮の満潮時に、生殖のための群泳を行う。

釣り餌として最もよく用いられるのは、海岸の磯に近い砂泥地に住むインゴカイである。町内でも海岸線のいたるところでみられたが、護岸工事などが進むにつれて取れる範囲が狭くなった。現在三カ所の養殖場で年間二、三あまり生産出荷されている。

八西地区の釣り具店では十五年ほど前から韓国産、四、五年前からは中国産が出回っている。

ご存じですか口座振替

手間が省け納め忘れもありません

のうち預金口座のある金融機関へ、通帳に使用している印鑑を持って、口座振替納入届(金融機関に備え付け)に、所定の事項を記入して申し込んで下さい。

二十日までに申し込むと翌月(二十日以降の場合は翌々月)より指定の口座から自動的に振替します。

振替が終わったときは、役場から個人宛に領収証の送付と合わせて翌月の振替金額をお知らせします。

役場からの支払い

役場から皆さんに支払いする場合も、基本的には口座振替となっております。

まだ利用されていない場合は、口座振替依頼書(役場と町見支所に備え付け)に所定の事項を記入して担当課か会計室へ提出して下さい。

口座振替払いにしますと、領収証(三万円以上の受取りによる印紙を含む)の添付も必要ありません。ただし、飲食店・スナック・旅館などで請求金額の中に飲食税が含まれている場合は公給領収証が必要で

支払い日は毎月五日、十五日、二十五日の三回で振込日が土・日祭日などの場合は、翌日か翌々日となります。

請求書には、記名と捺印が必要で、請求書に捺印されていないと支払いができません。

また、印鑑は、口座振替依頼書と請求書の印が同じでなければなりません。

口座振替を希望されます場合は、伊方町農協・町見農協・町見漁協・伊予銀行

に申し込みをお願いします。

口座振替が利用できる種類および振替日は次表のとおりです。

振替日

種類	振替日
町・県民税	毎月末日
町固定資産税	毎月末日
軽自動車税	4月末
保育所使用料	毎月25日
住宅使用料	毎月末日
国民年金保険料	毎月20日
国民健康保険税	毎月末日
学校給食徴収金	翌5日
水道使用料	毎月末日

(注) 振替日が土・日祭日の場合は翌日か翌々日となります。

3号機が本格着工

用地造成工事急ピッチ

67年3月の営業運転目指す

四国電力が九町越に建設を進めている伊方発電所三号機の建設工事が、十一月一日に本格着工しました。

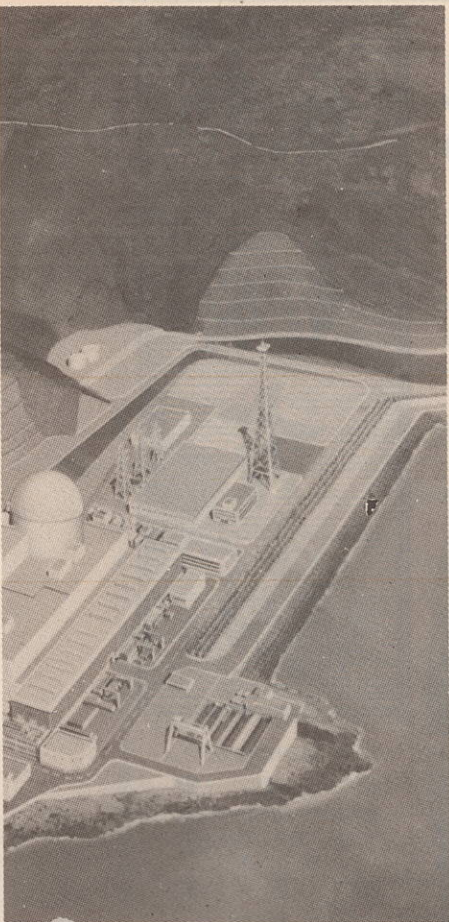
進ちよく率5割

伊方三号機(加圧水型軽水炉、出力八十九万キロワット)は、一・二号機の東約百九十メートルの地点に建設されるもので、現在大型のショベルカーやダンプカーがフル回転して地山削り取り工事が進められています。

また、海面約五万四千平方メートルを埋め立てる工事も進行中です。

本格工事の着工は、原子炉建屋周辺の掘削工事に取りかかるときをもって準備工事と区別しています。

すでに昨年六月から三号機の増設に必要な十五万四千平方メートルの敷地造成のため、陸地切り取り工事などの準備工事は始まっており、準備工事そのものの進ちよく率は六〇割(九月末現在)で、本体工事を含めた全体の進ちよく率は五割あまりです。



運転開始目指す

建設計画の概要
発電所敷地面積/約86万平方メートル(新規埋立約5万4千平方メートル)
出力/89万キロワット
原子炉型式/軽水減速・軽水冷却・加圧水型(PWR)

燃料の種類/低濃縮二酸化ウラン
復水器冷却用取放水計画/○取放水方式:深層取水,水中放流方式 ○冷却水量:毎秒約65立方メートル
用水計画/敷地内に増設の海水淡水化装置等より供給
工期(予定)/着工 昭和61年11月
運転開始 昭和67年3月

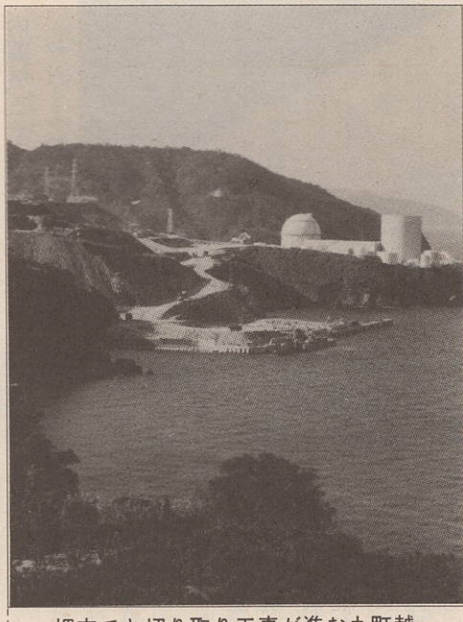
四国電力では今後、敷地造成や護岸工事と併行して、基礎掘削、取放水設備、建物工事などの本体工事へと移り、六十六年六月から試運転の予定。十カ月程度の調整のち六十七年三月の営業運転開始を目指しています。

総工事費は一・二号機より三五割多い二千八百四十億円の見込みです。

この三号機が完成すると、一・二・三号機を合わせた認可出力は約二百五十万キロワットとなり、四国の電気のおよそ半分は伊方発電所で賄われるようになります。

運転中32基

わが国の原子力発電所は、今から三十三年前の昭和三十三年十月、茨城県東海村で「原子の火」がともりました。



埋立と切り取り工事が進む九町越

以来次々に建設が始まり、現在、三十二基約二千四百五十万キロワットが運転されています。アメリカ・フランス・ソビエトに次いで世界第四位です。

このほかに建設中が十一基で約一千七百九万キロワット、建設準備中が六基で約六百五十万キロワットあります。

伊方三号機が計画どおり六十七年三月に営業運転を開始しますと、全国で四十二番目となります。

一基当たりの規模は、昭和五十年ごろまでは認可出力で三十万〜五十万キロワット級でしたが、最近では八十万〜百万キロワット級のものが建設されるようになりました。

運転中で認可出力の最大規模は、福井県の大飯発電所一・二号機で、それぞれ百七十七万五千キロワット。最少は茨城県東海発電所の十六万六千キロワットです。

電気代割引きアップ

三号機が建設されるのに伴い、町内の一般家庭の電気料金割引き額が今年九月分から月額二百四十円アップされ、六百十円(旧四百円)になりました。

また、ハウスマシカン施設などの低圧電力なども一キロワット当たり五十二円アップし、百五十二円(旧百円)になりました。臨時用以外は、ほとんどが割引きの対象となります。割引きの方法は、県及び財団法人日本立地センターを通じて給付金として支給されるものですが、四国電力がこの業

20年かけ段階的に

農業者年金制度が一部改正

ていましたが、四月一日以降は六十歳に達する日の前日に農業を行っていたらよいこととなります。

資格要件

後継者の加入要件は、従来は「申し出の日まで引き継ぎ三年以上耕作または養畜の事業に従事していたこと」となっていました。が、「耕作または養畜の事業に従事していた期間が三年以上あること及び申し出の日まで引き継ぎ六カ月以上耕作または養畜の事業に従事していたこと」とされます。

保険料

六十二年一月から通常保険料は月額八千三百円となり、それ以降六十六年まで、毎年八百円ずつ引き上げられます。

年金数値上、必要とされる保険料は約一万三千円と算定されますが、農家の負担能力などを考慮して段階的に改正されます。(六十一年度分の保険料は通常保険料七千三百四十円、特定保険料五千二百四十円です。)

給付水準

年金計算の基礎となる年金単価は受給者の生年月日に応じて二十年かけて段階的に改定されます。

その他

そのほか、総合的に見直しが行われています。詳しくは役場農業委員会事務局までお尋ねください。

経営移譲

経営移譲年金の受給権者は老齢年金の受給資格を自動的にもつていますが、経営移譲できなかった人は、従来「六十歳に達する日の前日に農業者年金加入者でなければならぬ」となっ



説話と民話

取材先/伊方越 補作/岡村豊
挿絵/山本一路(湊浦)

39

南部谷山のカラス

伊方越

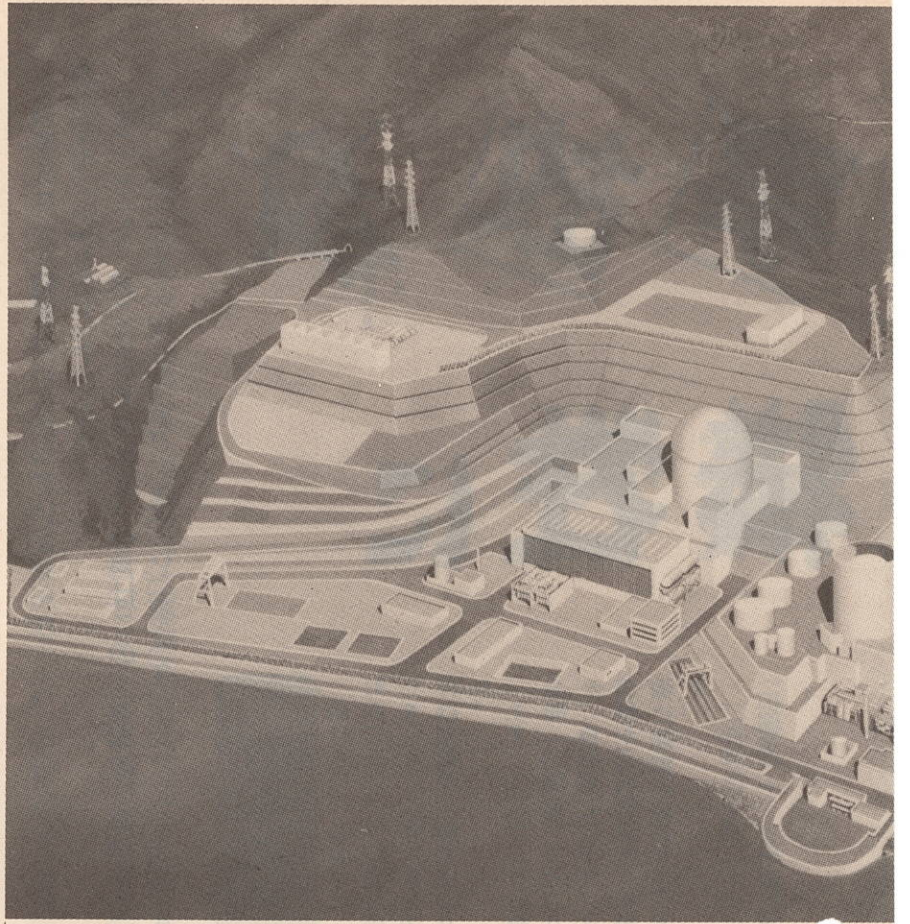
この四・五年のあいだに、伊方町もそうじゃが、この佐田岬半島の一带にカラスが増えたのう。

あの真つ黒いカラスの群れに出合うたら、まえにテレビで見たことのある外映を思い出してゾッとすらすらや。

特に、この近年は、気候のせいじゃろうかのう。地の中のミミズが、乾いた土地から

湿った土地へ移動するので、道路を横切るミミズを待ち伏せしてか、おおきなことのカラスが、ガードレールの上に群がって止まったりや。人間さまに慣れているが、車でそばを通ってもあんまり驚きません。

じゃが、こんな、うす気味悪いカラスでものを、よう



3号機の完成予想図。1、2号機と同型で67年3月の

交付金を活用し

豊かで住みよい町づくり

三号機の本格工事が始まったことで、本町を含む近隣四町には約七十四億円の電源立地促進対策交付金が交付されます。

このうち、半分の三十七億円は今年度から六年間に本町へ交付される予定。残る半分は保内町・瀬戸町・三崎町に配分されます。

本町では六年計画を立て、すでに今年度から水道施設整備などを始めました。初年度の事業費は約二億二千万円です。

今後、こうした原子力発電所立地町としてのメリットである交付金を積極的に、しかも有効に活用して、町民生活を豊かにして「活力ある町」、都市的な生活環境をかね備えた「定住できる町」、青少年をひきつける「希望あふれる町」の三つの基本方針を柱に、豊かで住みよい町づくりを進めることにしています。



パソコン教室などで人材養成も

現在計画している主な事業は、ニューメディアコミュニティ対策(有線テレビ)、町民グラウンドの新設、水資源対策、学校施設の整備などがあります。いずれも本町にとっての懸案事項です。

とぬかすがなら、これん、なせ、ほいて子なら、今から、こがいな大けな子がなせありや。これは、おらん囃よ。

馬鹿こな、何あつかましいことぬかすがなら」と、言い返したそうなのう。

勝太郎夫婦は、結婚まもなくして、嫁は、体がこんまいのに、派手な着物を着ていたのが、カラスにとっては、うらやましく思ったのか、そがいうて二人をてがうがと。

勝太郎は、とうとう腹にすえかねて、畑の小道に出て、小石を捨てては黄檀の木のカラスめがけて投げつけたとこそや。そうしたら「あんな憎ぞやのう、アホー、アホー」というて逃

がていってや「アハハハ……。このカラスは一羽じゃろか?と見ていると、どこかしから飛んで来て一対になつたらや。



ねえか。カラスには離婚はなからうぜのう。美男か美女かもあんまり黒いので、わしらは判断できんが、いつも夫婦で行動している姿は見ておつて実にほえましく思わい。

しかし、童謡にあるようなカラスの愛情深い親子の姿には、まだ一度もお目にかかったことはない。わしらが、今まで気付かなかつたのかもしれんがのう。

また「カラスに反哺の孝あり」という諺もあるが、人間にはどうじゃろうかのう。

これから、伊方うちではみかん取りが始まるのじゃが、こがいにカラスが増えてきて、山や海岸に群がっておるが、みかんが色付いてきたら山に食うものはないし、なんぼかみかんをつつくことやろのう。

協力者 木下ツルミさん(湊浦)

健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

老人保健

十月二十八日八幡浜市民会館で、東京医科歯科大学リハビリテーション部助教の竹内孝仁先生の講演があり、本町からも保健推進員、家庭看護学級生など三十七人が参加しました。テーマは「寝たきり老人・痴呆老人との地域でのかわり方について」でした。今回は、この講演会参加者の意見を紹介します。

だれもが迎える老後を、いかに過ごすかは、その人の考え方(心の持ち方)で決まると思っています。

気むづかしいことを言ったり、くだいことを言ったり、若い人は寄り付かず、孤立しがちになるので、人に好まれるような老人になりたいたいのだと思います。

わたしは、本や新聞を毎日読んで頭を使っていると思っポケにならないのかと思っ

今回、竹内孝仁先生のお話を聞いてると孤立して本ばかり読むこともあまり

良くなく、痴呆になる例を出されましたので考えさせられました。「連れあいを無くした人や年を取ってからの引越しをするとボケになり易い。老人クラブではしゃいでいたり、ずうずうしい人はボケない」、こうした話はなるほどと、うなずきました。

中年のころから友人をたくさんつくって、常に交わりを絶やさないように生活をし、楽しい老後を送りたいものです。

老人クラブの皆さんにも先日のようなお話を聞かせてあげると、良いのじゃないかと思っ

国の老人対策はどのようになっているのかわかりませんが、老人の皆さんにも健全な生活を保たれて、痴呆老人を増加させないよう一人一人が気を付けることが大切だと思います。

不幸にして家族や親戚に寝たきり老人、痴呆老人が出来た場合には、話相手をしあげたり、車椅子でも良いから外へ出してあげたり、やさしい気持ちで接してあげたいのだと思っ

二宮博子(湊浦)



事故 犠牲に

関係ないと思っていませんか

交通事故なんか関係ないと思っていませんか。このところ町内で、死亡事故が相次いで発生しています。起こしても、起こされても大変。今月はこの交通事故に焦点を当ててみました。下図は今年十月末日までに発生した事故を図表にしたものです。



九町トンネル東側で起こった死亡事故。ガードレールは折れ曲がり、車はメチャメチャでした。

57年以来

前にも述べたように、今年町内で三件の死亡事故が発生しました。二件は歩行者、一件は運転手が犠牲となりました。

まず、二月十二日に湊浦の白崎(旧国道)で起こりました。自転者とジョギング中の男性が正面衝突して転倒。路面に頭部を強打したものです。

二件目は十月二十日に中浦(旧国道)で、自宅前の道路を

横断中の女性が乗用車にはねられました。もう一件は、十月二十

三日に九町トンネル(新国道)の東側約二百メートルのところで、スピードを出し過ぎていた乗用車が中央線を越え前から来た車に接触してガードレールに激突。運転手は即死状態でした。

本町での死亡事故は昭和五十七年十一月に伊方越の県道で起こってから実に一千七百十日ぶりでした。年に三件もの発生も、もちろんはじめてのことです。

今年の事故発生状況

10月末現在



町内の事故状況

事故番号	発生場所	発生年月日	道路種別	原因	被害者
①	豊之浦	1月7日	町道	前方不注意	物損
②	湊浦	1月12日	町道	前方不注意	人身
③	湊浦	1月18日	新国道	出会い	物損
④	湊浦	1月18日	町道	前方不注意	人身
⑤	川永	1月28日	旧国道	前方不注意	物損
⑥	湊浦	2月12日	旧国道	前方不注意	人身
⑦	田之	2月13日	旧国道	前方不注意	人身
⑧	河内	2月24日	新国道	前方不注意	人身
⑨	畑奥	2月24日	旧国道	前方不注意	人身
⑩	畑奥	2月28日	町道	前方不注意	物損
⑪	畑奥	2月28日	町道	前方不注意	物損
⑫	二見	3月7日	旧国道	わき見	物損
⑬	豊之浦	3月9日	町道	後方不確認	物損
⑭	畑奥	3月9日	旧国道	後方不確認	物損
⑮	畑奥	3月17日	旧国道	後方不確認	物損
⑯	川永	3月25日	旧国道	前方不注意	人身
⑰	豊之浦	4月2日	旧国道	前方不注意	物損
⑱	田之	4月11日	旧国道	前方不注意	物損
⑲	伊方越	4月25日	町道	前方不注意	物損
⑳	九町	5月4日	町道	前方不注意	人身
㉑	川永	5月7日	町道	前方不注意	物損
㉒	古屋敷	5月7日	町道	前方不注意	物損
㉓	湊浦	5月9日	町道	前方不注意	人身
㉔	河内	5月17日	新国道	車間距離不足	物損
㉕	湊浦	5月23日	町道	運転誤り	人身
㉖	奥	5月24日	町道	前方不注意	人身
㉗	川永	5月31日	旧国道	前方不注意	物損
㉘	大成保	6月3日	町道	前方不注意	物損
㉙	大久	6月17日	農道	前方不注意	物損
㉚	田之	6月20日	旧国道	前方不注意	物損
㉛	田之	6月24日	旧国道	前方不注意	人身
㉜	中	7月2日	町道海岸	前方不注意	物損
㉝	湊浦	7月4日	旧国道	前方不注意	人身
㉞	田之	7月5日	旧国道	前方不注意	物損
㉟	古屋敷	7月6日	町道	前方不注意	物損
㊱	湊浦	7月15日	町道	前方不注意	人身
㊲	田之	7月19日	旧国道	前方不注意	物損
㊳	古屋敷	7月25日	町道	前方不注意	物損
㊴	古屋敷	7月27日	町道	前方不注意	物損
㊵	湊浦	7月28日	町道	前方不注意	物損
㊶	九町	8月6日	町道	出会い	物損
㊷	仁之	8月8日	旧国道	前方不注意	人身
㊸	古屋敷	8月11日	町道	出会い	物損
㊹	田之	8月15日	旧国道	前方不注意	物損
㊺	田之	8月17日	旧国道	前方不注意	物損
㊻	加	8月19日	旧国道	前方不注意	人身
㊼	田之	8月23日	旧国道	前方不注意	物損
㊽	古屋敷	9月19日	町道	前方不注意	物損
㊾	古屋敷	10月5日	町道	出会い	物損
㊿	川永	10月15日	町道	わき見	人身
1	湊浦	10月18日	町道	後方不確認	物損
2	河内	10月20日	町道	後方不確認	物損
3	中	10月20日	旧国道	前方不注意	人身
4	川永	10月23日	新国道	速度出し	物損
5	中之	10月23日	農道	出会い	人身

町のわだい

全国身障者スポーツ大会で 奥田さん金メダル

須賀の奥田シゲ子さん(43歳)が、10月25日から2日間山梨県で開かれた第22回全国身体障害者スポーツ大会に出場。一人で金と銅の二つのメダルを獲得しました。



奥田さんは、まず初日に車椅子の100m走に出場し堂々の金メダル、翌日はソフトボール投げで銅メダルに輝きました。同大会での金メダリストは本町では4人目です。

3代目「おとり号」 10月末から運行始める

町ではスクールバス「おとり号」を購入。運行の安全を祈り、10月25日に役場前で入魂式を行いました。

おとり号は、大成・鳥津の保育園児と小学生を運ぶスクールバスで、昭和42年6月から運行を開始。今回で3代目となります。

車の排気量は7,000cc、47人乗りです。10月27日から運行を始めました。



自然の恵みに感謝

有小で父兄らを招き収穫祭

自然への感謝と収穫の喜びを体験しようと、10月21日に有寿来小学校で収穫祭が行われました。

有寿来小学校では今年度から、菊の1人1鉢栽培と近くの畑を借りてサトイモやサツマイモの栽培を始めました。5月に全校生徒で植付を行い、この秋150kgを収穫。この日は父兄や町の教育関係者など40人あまりを招いて「いもたき」をして楽しみました。



伊中こども郵便局・水小は日赤表彰を受ける

四国郵政局の優秀郵便貯金団体等表彰式が10月28日に松山市で開かれ、伊方中学校こども郵便局が郵政省貯金局長表彰を受けました。

伊方中学校のこども郵便局は、これまでも大蔵大臣・日本銀行総裁表彰など数多くの荣誉に輝いています。

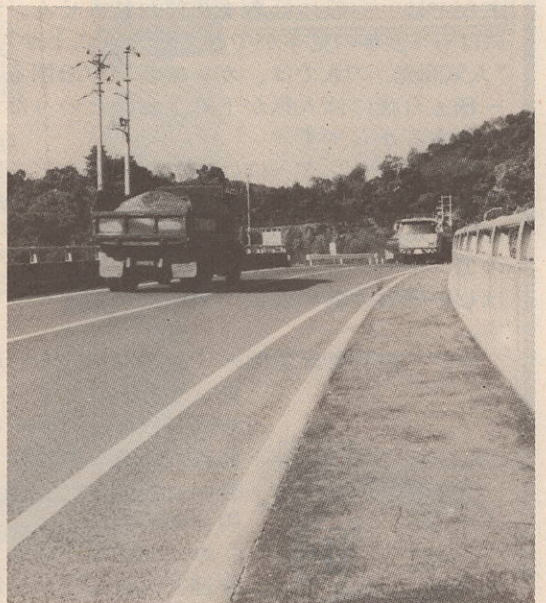
また、10月26日に松山市で開かれた第32回青少年赤十字県大会で、水ヶ浦小学校が日本赤十字社功労賞を受けました。

青少年赤十字は博愛の精神を教育現場で養おうというもので県内では210校・約7万人が加盟しています。水ヶ浦小学校は昭和45年5月に加盟し、健康・安全・奉仕などの実践活動を行っています。同校の受賞は55年に次いで2回目です。

相つぐ死亡

すでに3人も

以外に少ない新国道



新国道の整備につれ、懸念される大事故の発生

死亡事故のほかにも、不注意による接触や自損事故も増えています。一般的に道路が整備されると交通事故が増えるといわれますが、本町も例外ではありませんでした。下図の事故発生状況でもわかるように、以外と少ないのが整備された新国道。これに

反して、多発しているのが新国道に接続している町道などです。中でも目につくのは役場前から河内までと、田之浦から平石峠に通ずる町道です。両方合わせて十四件も発生しています。特に田之浦から平石峠に通ずる町道は、これまで年に一

二件程度でした。ところが、今年三月十九日に新国道が平石峠まで開通すると事故が急増。半年あまりの間に七件もありました。しかし、ほとんどが町外車両。十月七日に新国道が瀬戸町まで開通したことで、以降は事故も起らなくなりまし

た。道幅が狭く、カーブの多い町道が国道間の接続道路となつて急に交通量が増えたためですが、地元にとってはヒヤヒヤものでした。町でも新国道の開通と合わせて、起点と終点に注意を呼びかける看板を設置するとともに、カーブ改良や道幅拡張などに努めています。

さらに、重大事故の防止を願って、近く交通安全を呼びかける看板の設置、交通安全会議の開催なども検討中です。交通事故は思わぬときに、思わぬところで発生するものです。自分に関係ないと思わず、一人一人が注意し町内から悲惨な交通事故を起こさないようご協力ください。

ダメ！ 自転車の無灯火

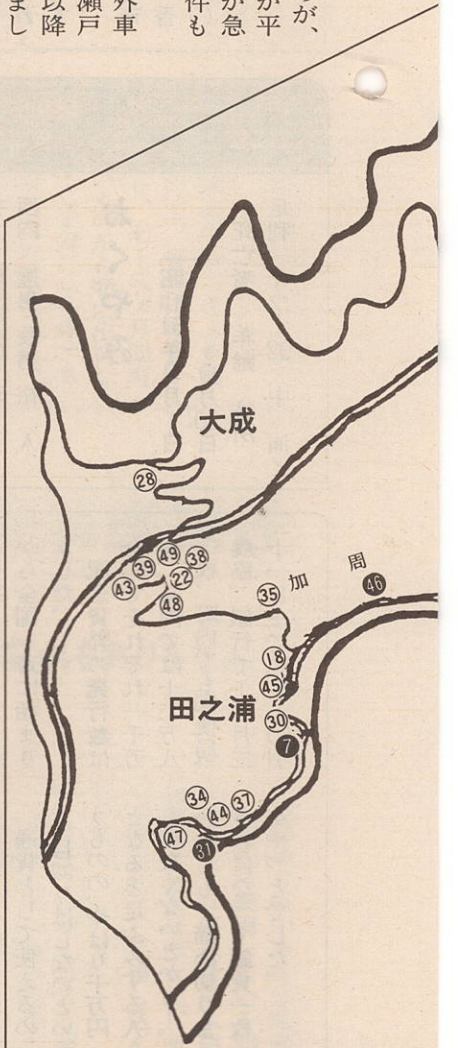


街頭指導で無灯火車を一台一台チェック

町内の傾向として、もう一つ見逃せないのが自転車の関係した事故。そのほとんどが、無灯火とスピードの出し過ぎ、は八幡浜警察署と協力して、

この日、一時間あまりの間に通行した自転車は三十一台。うち、無灯火は十七台もありました。理由は「ペダルを踏むのに疲れる、ライトが切れやすい」とことだそう。自転車も暗いところではライトをつけなければならぬことになっています。補導会では今後も定期的に街頭指導を行うことにしています。自分自身を守るためです。自転車に乗る皆さん、ライトを忘れないでください。

無灯火自転車の街頭指導を行いました。一回目は十一月十日に大峠トンネル東側で、夕方五時三十分から約一時間、補導員など十五人が出て二台一台チェックしました。



歳時記

カレンダー

翌年のカレンダーが手に入ると、連休はどんな具合かなと、めくって見るのが楽しみなものです。以前は、「日食」と称して、祝日と日曜日が重なると、がっかりするサラリーマンが多かったのですが、今は振り替え休日のおかげでこんなことはなくなりました。

カレンダーが何部くらい出回っているかという、およそ3億部と推定されています。1人当たり3部近いのですから大変な数です。

種類は、日めくり、月表(毎月または2ヵ月ごとに1枚になったもの)、年表とあります。日めくりは最近あまり見かけませんが、根強いファンもいて、2,500万部くらいは出ているそうです。

月表の写真は風景が圧倒的に多く、タレントなどは、一般にはあまり使われません。春にはもう翌年の見本ができてしまうことから、「人気商売」の人では、カレンダーが出回る7~8ヵ月後には人気は下降し、といったこともあるからです。

最近のカレンダーには友引、仏滅などの六曜が入っていないものが多いのですが、大安だけが入っているものもあります。カレンダーのアンケートをとったところ、大安を入れてほしいと言う若い女性が多かったのだそうです。

さて、12月には恒例の「歳末たすけあい運動」が行われます。今年行われている一般募金と合わせて201億5,200万円です。みんなで温かい正月を迎えられよう、助け合いに協力しましょう。



かきわ 西村 宗君



防火の大役、あなたが主役。をテーマに、今年も十一月二十六日から十二月二日までの一週間、全国一斉に秋の火災予防運動が行われます。寒くなり、暖房器具を使うことが多くなるこの時期、後



防火はあなたが主役

11月26日から秋の火災予防運動

始末はきちんとしてしまおう。特にお年寄りの火の取り扱い、幼児の火遊びは周りの人が注意してください。ちょっとした心づかいが大切です。今年、町内で発生した火災は五件(十一月十五日現在)です。いずれも建物です。中には住宅一戸全焼もありました。もし火災が発生したり、その場に居合わせることがあったら、手分けしてできるだけ早く消防署(一一九)へ連絡しましょう。

模擬火災演習

伊方町消防団では十二月一日、町内二カ所で模擬火災演習を行います。当日早朝、町内全域にサイレンを鳴らし、そので、間違わないようお願いします。模擬火点になる地区の皆さんには大変ご迷惑をおかけします。ご協力ください。

土地取引

一定面積以上は 県知事に届出を

一定面積以上の土地の売買、交換、代物弁済(例えば、金の代りに土地で支払いをする場合)などのときは、あらかじめ、その土地が所在する市町村長を経由して、都道府県知事に届出をしなければなりません。万一、この届出をしないで土地取引をしたら、偽りの届出をすると六ヵ月以下の懲役または三十万円以下の罰金に処せられたり、税法上の特典なども受けられなくなったりします。

人権コーナー

いじめの実 早期でつかて

この標語は、昨年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品の標語部門で「人権擁護委員伊方部長賞」に選ばれたものです。

訓練生募集

香川職業訓練短期大学校では、昭和六十二年度学生を募集しています。応募資格は高等学校を卒業した人(来春卒業見込者含む)または、これと同等以上の学力を有する人です。詳しくは香川県丸亀市郡家町三二〇二番地・香川職業訓練短期大学校(〇八七七一四一六九〇)までお尋ねください。

人の動き

昭和61年10月1日現在 世帯数2,644戸(+3戸)

人口 8,596人 {男4,189人(+0人) (+11人) 女4,407人(+11人)}

えんむすび

昭和61年9月1日 9月30日

お誕生おめでとう

昭和61年9月1日 9月30日

おくやみ

昭和61年9月1日 9月30日

公給領収証を

愛媛県では、十一月二十日から十二月十九日までの一ヵ月間「公給領収証完全発行強調運動」を実施します。皆さんが、皆さんが、料理店・パブ・キャバレー・飲食店・旅館などで遊興、飲食や宿泊などをして料金を支払ったときは必ず領収証を受け取ってください。次のよう

Table with 2 columns: 場所 (Location) and 発行条件 (Issuance Conditions). Rows include 料理店・パブ・キャバレー・飲食店・スナックなど, 旅館, and 旅行.

こちら編集室



天皇陛下御在位六十周年記念の金貨と銀貨の引換えが十一月十日から全国一斉に始まりました。記念貨幣の発行数は全国でそれぞれ一千万枚、県内では十二万八千枚。町内でも郵便局、農協、銀行で十一月二十一日まで現金との引換えが行われています。郵便局に聞いてみると、「引換券の交付のときのような行列はでなかつたが、毎日少しずつ出ている。ほとんどが主婦のかたで、金銀一枚ずつが多い」とのことでした。通貨として使われるの、目減りはしないというものの、やはり十数万円となると足ぶみする人も少なくないとか。わたしも、締め切りまぎわになって銀貨一枚がやっとでした。